

夜間でも安心できるように

LED街路灯10基寄贈

東北電力株式会社五所川原電力センターの八重樫所長と株式会社ユアテック五所川原営業所の鎌本所長が6月24日(木)に町長のもとを訪れ、LED街路灯10基と取付工事の目録をそれぞれ手渡しました。

町長は「助かります。これで町民の皆さんも夜間でも安心して外を歩けます」と感謝の言葉を述べていました。



明るい犯罪のない社会のために

社会を明るくする運動メッセージ伝達式

犯罪や非行防止などを目的にそれぞれが力を合わせて行われる「社会を明るくする運動」。7月1日(木)には、中泊町の保護司会と更生保護女性会が参加し、メッセージ伝達式を役場玄関前で行いました。

伝達式では、法務大臣からのメッセージと青森県知事からのメッセージを手渡し、町の協力を要請しました。一行は、町内パレードで事務所などを訪れ、運動の啓発活動を行いました。この運動は、「更生保護の日」である7月1日から1か月間を強調・再犯防止啓発月間と位置づけて行われています。

ごみはどこで処理されているの？

武田小4年生が「ごみ学習会」

武田小学校の4年生が7月2日(金)に施設を巡ってごみの処理過程を学ぶ「ごみ学習会」を行いました。

児童たちは中泊町最終処分場、西部クリーンセンター、武田公民館ストックヤードの3か所を回り、ごみが処分されるまでの過程を学びました。

野高五郎くんは「ごみの処理の過程をいろいろ知られておもしろかった。これからはまず自分からごみを減らしていきたい」と話していました。この学習会は、8月27日(金)に中里小学校でも行われる予定です。



地域を支える町内会

下前中町町内会が清掃活動を行いました

下前中町町内会20人が「きれいで住みよいくらしのために」「安全・安心なくらしのために」7月9日(金)に町内の歩道や避難路の草刈とゴミ拾いを行いました。

町内会では、ひとりでは解決できない課題などを共有し、住みよい町内をつくるためにさまざまな活動をしており、日頃から地域活動を通じた町民同士の融和と結束を強めています。

町の観光資源には何があるのか

中里小6年生が出前講座を受講

中里小学校6年生25人が7月12日(月)に校内ランチルームで出前講座を受講しました。

この日は役場職員が散策マップを使いながら町の観光資源の説明を行いました。

児童たちは町の観光資源を楽しみながら学んでいました。



産業を通して文化を学ぶ

小泊小5年生がメバルねぶた作成

総合的な学習の一環で、7月16日(金)と19日(月)の2日間、小泊小学校5年生14人がメバルねぶたを作成しました。

講師として、メバルねぶたを制作・販売している小泊在住の山田仙安さんを招き、児童たちは楽しみながらメバルねぶたを作成していました。

山田さんは「この体験が楽しい思い出になって、この楽しさを後輩や親に伝えてほしい」と述べていました。

町を守り続けた35年

三上一二三さんへ春秋叙勲

消防団員として35年以上働いた三上一二三さんが瑞宝単光章を88歳の節目に受章しました。7月9日(金)には、役場町長室で伝達式が行われました。

三上さんは昭和22年に旧武田村消防団へ入団、昭和60年からは旧中里町消防団分団長として尽力し、昭和62年にご勇退されました。三上さんは「光栄に思う。共に働いた団員に大変感謝している」と喜びの言葉を述べていました。

